

1. 結果の概要

平成16年6月の千葉県消費者物価指数（13市平均）は、**総合指数で97.6**（平成12年＝100）、前月比(+)0.3%となり、前年同月と同水準であった。
なお、13市平均総合指数の前年同月比は、平成11年9月以降平成16年5月までの45か月間、マイナス値が続いていた。
一方で、**生鮮食品を除く総合指数は97.4**となり、前月と同水準、前年同月比(-)0.2%となった。

2. 前月からの動き

- 今月上がった主な項目……生鮮野菜（＋）8.5%
- 今月下がった主な項目……穀類（－）1.9%

3. 10大費目の動き

- 食料は98.3**となり、前月比(+)0.7%となった。
内訳をみると、生鮮魚介は、あさり・いわしなどが値上がりしたものの、かつお・さばなどの値下がりにより(-)1.6%となった。
生鮮野菜は、にんじん・トマトなどが値下がりしたものの、かぼちゃ・キャベツなどの値上がりにより(+)8.5%となった。
生鮮果物は、メロン・すいかなどが値下がりしたものの、グレープフルーツ・りんご（ふじ）などの値上がりにより(+)5.8%となった。
- 住居は97.8**となり、前月比(-)0.1%となった。
内訳をみると、家賃は(-)0.2%、設備修繕・維持は前月と同水準であった。
- 光熱・水道は99.2**となり、前月比(+)0.1%となった。
内訳をみると、電気・ガス代は(-)0.1%、他の光熱は(+)2.4%となった。
- 家具・家事用品は86.0**となり、前月比(-)0.2%となった。
内訳をみると、家庭用耐久財は(-)0.4%となった。
- 被服及び履物は92.4**となり、前月比(-)1.1%となった。
内訳をみると、衣料は(-)0.8%、シャツ・セーター・下着類は(-)2.1%となった。
- 保健医療は103.3**となり、前月と同水準であった。
内訳をみると、医薬品・健康保持用摂取品は前月と同水準、保健医療用品・器具は(+)0.2%となった。
- 交通通信は98.6**となり、前月比(+)0.9%となった。
内訳をみると、交通は(-)0.1%、自動車等関係費は(+)1.5%となった。
- 教育は103.7**となり、前月と同水準であった。
内訳をみると、授業料等、教科書・学習参考教材ともに前月と同水準であった。
- 教養娯楽は94.3**となり、前月比(+)0.4%となった。
内訳をみると、教養娯楽用耐久財は(-)1.0%、教養娯楽用品は(+)1.5%となった。
- 諸雑費は101.3**となり、前月比(-)0.1%となった。
内訳をみると、理美容用品は(-)0.4%、身の回り用品は(-)0.2%となった。

4. 13市平均の10大費目指数（平成12年＝100）

区分	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費	生鮮食品を除く総合
平成16年6月	97.6	98.3	97.8	99.2	86.0	92.4	103.3	98.6	103.7	94.3	101.3	97.4
平成16年5月	97.3	97.6	97.9	99.1	86.2	93.4	103.3	97.7	103.7	93.9	101.4	97.4
前月比（%）	0.3	0.7	-0.1	0.1	-0.2	-1.1	0.0	0.9	0.0	0.4	-0.1	0.0
前年同月比（%）	0.0	1.1	0.1	0.0	-3.9	-4.5	-1.0	0.4	0.1	-0.7	1.7	-0.2
前月比寄与度	0.31	0.20	-0.02	0.01	-0.01	-0.06	0.00	0.12				

- （注1）前月比（前年同月比）（%）＝ {（当月指数－前月（前年同月）指数）÷前月（前年同月）指数} ×100
- （注2）生鮮食品とは、生鮮魚介、生鮮野菜、生鮮果物をいう。
- （注3）寄与度とは、それぞれの項目の前月比が総合指数に対して押し上げた大きさを示したものの。